

供 食 ・ 会 食

NPO法人支え合う会みのりの共食活動

～ NPO 法人が中心となった地域住民の支え合い～

1 概 要

東京都稲城市を中心とした地域で、9つの公共施設を利用しながらの会食会サービス、(4月から新しい会食会を立ち上げた。)また月曜日から金曜日まで食事の用意に困っている高齢者などを対象とした夕食の配食サービスを実施している。その他、情報交換や様々な世代の交流につながるミニデイサービスの運営をしている。

共食・・・食を共にする、共に楽しく食する行為
会食・・・拠点に集まり一同で食事をする行為

2 背景ときっかけ

会食会の活動を始めるきっかけになったのは、老後を考える勉強会を行っており、その中から、何かアクションを起こそうと考えたことである。その後、会食会に来られない人に対しての配食サービスや、地域住民の交流を図るためのミニデイサービスの活動を開始した。

3 取組の内容

1. 会食会サービスについて

開 催 場 所: 稲城市内の9つの公共施設を利用して実施

開 催 頻 度: 月に12回程度開催

提供する料理: 各会食場所にてボランティアが調理し参加者が配膳の手伝いもする

2. 配食サービスについて

対 象 地 域: 稲城市内全域

配 食 数 : 月曜日から金曜日の夕食に約120食

配 食 料 金: 600円/食 のほか年会費2,000円

配 達 方 法: 4台の専用配達車にて配達

3. ミニデイサービスについて

開 催 場 所: 会の拠点で

開 催 頻 度: 月に15回程度開催

実 施 内 容: 会食中心に世代間交流、麻雀、朗読、配食ご利用者に向けてなど

4. 行政との係わりについて

配食サービスを開始するときの起ち上げ費用の補助、定期的に行政との話し合い、会主催の全体事業への参加、稲城市の委託事業も実施している。

4 取組の効果

- 会食会や配食の料理には、栄養の面から野菜や肉、魚など多品目を考慮した調理で、利用者は低栄養予防になりバランスのよい多様性の食事をとることができる。
- 会食会は、食事をするだけでなく、コミュニケーションや情報交換の場となっている。
- 地域住民が会食会や配食の活動に取り組むことで地域コミュニティの形成と、利用者に生活の安心感を与え、地域の見守りにつながっている。
- 配食サービスは、減塩、お粥、魚の骨を取り除くなどの個別要望に応じているため、健康状態に対応した食事の提供となっている。

5 取組上の工夫

- 会食会の開催場所は、多くの人に参加してもらうため、歩行が不自由な人などが集まりやすい場所にするなど工夫をしている。
- ボランティアに長く活動を続けてもらうために、研修活動や旅行などボランティア自身も活動中にスキルアップや楽しめるような催しを行うようにしている。
- 地方自治体からの補助や企業からの助成金を有効的に活用して運営している。
- 毎月1回 各部署のリーダーによるリーダーミーティングを行い情報の共有化を図っている。
- 災害時の対応(消防署による災害時の対応、緊急時対策会議)

6 今後の展望

- 配食サービスの夕食をつくる調理場の整備を行い配食サービスを拡充していく。
- 高齢者の外出の機会を作るため各地域毎の会食会場を増やしていく。
- 買い物に困っている高齢者に買い物を代行するサービスを検討していく。【事業イメージ】

7 参 考

支え合う会みのりが活動している地域の概要
稲城市（出所：平成17年国勢調査）

- 人口 76,492人
- 高齢者人口 10,888人(14.2%)
- 世帯数 30,348世帯
- 高齢夫婦世帯 2,143世帯(7.1%)



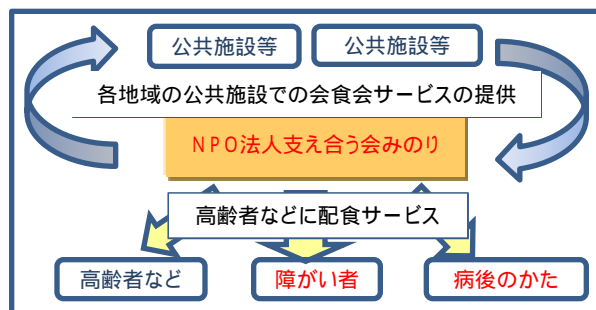
【会食会の様子】



【配食準備の様子】



【みのり旅行】



【問い合わせ先】 特定非営利活動法人 支え合う会 みのり

住所：東京都稲城市矢野口364-3 電話：042-378-8757